

# 令和5年度 第3回大和市スポーツ推進審議会 会議録

会議名	令和5年度 第3回大和市スポーツ推進審議会	
開催日時	令和6年3月26日（火）午後3時00分～午後4時10分	
開催場所	大和スポーツセンター体育会館2階 会議室	
出席状況	委員	10人（荻窪会長、古市副会長、姉崎委員、長谷川委員、山内委員、大谷委員、八柳委員、林委員、鴨下委員、粕山委員）
	事務局（担当課）等	事務局5人（スポーツ課長、他担当4名）及び文化スポーツ部長
	傍聴人	0人
担当課	文化スポーツ部スポーツ課スポーツのまち推進係 内線（5763）	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	

## 1. 会議次第

### （1）議題

- ①令和5年度スポーツ課関係主要事業について
- ②令和6年度スポーツ課関係主要事業について
- ③令和6年度スポーツ関連団体に対する補助金について
- ④令和6年度スポーツ課予算について

### （2）報告

- ①第2期大和市スポーツ推進計画の改定について

### （3）その他

- ①次回開催予定 令和6年5月を予定

## 2. 審議又は検討経過及び結果 主な内容は次のとおり

### 【議題に先立ち、審議会会長及び副会長の選出】

会長に荻窪委員、副会長に古市委員を選出。

### 【議題（1）令和5年度スポーツ課関係主要事業について、議題（2）令和6年度スポーツ課関係主要事業について、事務局より説明】

#### ●委員

トップスポーツ観戦デーについて、競技人口を考えても野球が一番多いと思われるが、以前はイースタン・リーグを大和スタジアムで開催したこともあり、現在は事情があり、招致できないことは分かっているが、（大和スタジアムで開催するための）方策やいつ頃から開催が可能なのかについては、見通しは立っていないのか。

#### ○事務局

大和スタジアムについては、過去にイースタン・リーグを開催していたが、現在大きな懸念になっているのが、三塁側のファールボールについて、高さ40mの防球ネットを設置しているものの、そのネットを越して、その下にある公園もしくはその隣の民家へ落下するという事案が何件か発生していることである。予測も含めてになるが、大学野球や社会人野球クラブチームの全国大会開催時に、そういった事案が起きるということを捉えると、ピッチャーの投げる球速やバッターのスイングスピード等の兼ね合いで、打球方向によってフェンスを越えることがあり得ることが分かっている。プロ野球になると、日本野球界では最高峰になるので、そういったことも予測していかなければならないため、その懸念があると考えている。

また、ボールが飛び出す事案に対する対策については、まだ具体化できていないところはあるが、防球ネットをこれ以上に嵩上げしようとする、業者からはまず地中の基礎からより深くしていく必要があると聞いているため、今後こういった方向性に進むのが適切か検討していきたい。施設面については、以上である。

●委員

昨年から話が出ていたが、これから対策について検討するのか。

○事務局

今、施設面のお話をさせていただいたが、イベントとしては、トップスポーツ観戦デーということで昨年、「関東大学ラグビー対抗戦」を開催し、今ラグビーもプロ化しているが、プロだけではなく、トップスポーツと幅広く捉え、プロを呼ぶだけではなくて例えば高校年代のトップスポーツにする等、今後視野に入れる必要があるということは考えている。

施設面はなかなか課題も大きいと思うので、例えば高校のトップレベルや大学のトップレベルというような、今のご要望を受けた中でそういうふうに展開していくことも検討していきたい。

●委員

今年度から3月2日にホームタウンクラブ連携サッカーフェスティバルというのが始まるようだが、このあたりの背景ややろうとなったきっかけがあればお聞かせ願いたい。

○事務局

今年度、5月から新しく古谷田市長が就任され、県央4市の連携については、新聞報道等されていると思うが、広域連携をしていきたい考えを持っている。

会場としては「大和ゆとりの森」と「綾瀬スポーツ公園」で計画しており、両市の施設面の特性や、それぞれが持っている資源を考えると、それぞれ共通で男女サッカーでホームタウンとなるチームがあり、綾瀬市に打診をしたところ、快諾をいただき、来年度実施する流れになった次第である。

●委員

今年度、綾瀬市の駅伝競走大会に「大和ゆとりの森」をお貸しして開催された経緯がある。やはりこれからは両市の協力体制を図っていきたいというふうに考えているが、今回いち早く令和6年度に連携事業の開催となったようだ。

【議題（3）令和6年度スポーツ関連団体に対する補助金について、議題（4）令和6年度スポーツ課予算について、事務局より説明】

<質問・意見なし>

【報告（1）第2期大和市スポーツ推進計画の改定について、事務局より報告】

●委員

第2期スポーツ推進計画の策定について、前回の審議会の説明では、とりあえず今の計画を1年延伸するということがあったが、アンケートをとったところで、それを基にしてこれから策定していくことになると思うが、総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型という。）を知っている市民の割合が最終目標値は10%となっているが、実際には、今、国も、県も市も（この割合を）上げて、総合型へ部活動を移行しようということを考えているようだが、総合型の位置づけとして、先ほどの例えば予算なんかも創設をするときには準備金をいただき、維持費を2年間いただくが、その後は一切ない。総合型に部活を移行する受け皿を作っていかなければいけないという動きになっているが、大和市はそのような動きは全く感じられなくて、何を基準に幸せなのか、誰が幸せになるのかタイトルがやたら変わるが、それは市の条例で変わるものなのか。そういうことこそ、本当は審議会にかけるべきだと思う。

○事務局

総合型に（部活動を）移行していくというお話があったが、移行については、総合型だけではないというところをご理解いただきたいと思う。他にもスポーツ協会の方たちやスポーツ推進委員の方のご協力もあるかもしれないので、地域の指導者の方に移行していくという形になっていく。

また、総合型の補助金については、部活動の地域移行の流れの中で、そこを手厚くしていくべきではないかという議論もあるかもしれないが、本市は、県内の他市と比べても比較的手厚くフォローしているということはわかっており、地域移行が進んでいく中で、総合型の方の役割がだいぶ重くなるというようなことが見られればそこは考えていかなければいけないと思うが、本市の地域移行についてははまだそこまで進んでないというのが現状なので、ご意見として賜るが、総合型だけに早急にお金の手当をすることがどうかということについては、これから議論になるというふうを考えている。

●委員

中学校校長会の中では、（部活動の地域移行について）どうか。

●委員

休日の部活動地域移行については、具体的に細かいところまで決まっていない。（部活動地域移行の）受け皿については、総合型も受け皿の一つだが、各中学校で数ある部活の種目全部が補えるかというとなかなか難しい。あと部活動とクラブの目指す方向がどれだけ一致しているかということや、あと総合型ではないが、サッカークラブ等いろいろあるが、得意な子しか入れないということもあるため、地域移行というところはなかなか難しい。

部活動顧問の勤務時間の問題が言われているが、少し発想を変えて顧問を手厚くする、予算をつける等の細かいところについてはまだ決まっていないが、そんなこともありなのかなと考える。（部活動の顧問の手当について）時給で言えば最低賃金を下回っている。土日に部活をやったときに、何か手当をつけていくということも一つの選択肢としていかがか、というような話も出ている。

●委員

中学校の現場はおっしゃる通りで、平たく言うと、国は部活動の地域移行を謳っているが、現場は行き詰まっており全然進んでいない。中学校の方でそういう指導者がいないということで、「高校の顧問の先生で休日、中学校の指導に行っていただける方はいないか」、「兼職兼業でお金を出します」という声もあがっている。でも一方で高校は、働き方改革という中で、高校の中の業務でも手一杯なのに、中学校にまで指導に行く余裕があるのかと。働き方改革の部分でも問題になっている。さらには、部活動顧問のあり方に関する団体が立ち上がった。そこでは勤務時間中に関しては、17時までは部活の指導をしていただくことは問題ないが、17時を過ぎたところで、部活の指導をしていただくというのは、強制はできない。当然、土日は強制はできないとの立場で、現場では（部活動顧問を）強制しているのではないかと。現場ではお願いできませんかというお願いはしている中で、今のところ、そのあたりを信頼関係の中で顧問をやっていただいているが、それを声を大にしてこういう団体が出てきた関係で、おそらく顧問を辞退する先生方が、高校でも非常に多くなってくると思うので、なかなか現場は行き詰まっている。

●委員

日本スポーツ協会には、色んな指導者が一覧表であるが、大和市にも同じようなものはあるのか、と気になっている。小田原あたりはスポーツ協会がすごく熱心にやっている。大和市についてそういうことも知りたい。スポーツ指導員の名簿をまとめるようなことは、話が出たことはあるか。

●委員

学校としても、地域指導者ということをお願いしていることは実際ある。その名簿というか人材バンクみたいなものは存在している。ただ、登録人数は現状、多くはない。

○事務局

スポーツ課では現状、名簿はない。地域移行に向けては今県が動いており、協力いただける方を集約して公表しているサイトはある。

●委員

地域指導者については、日本スポーツ協会が認めた資格を持っている方がやった方がいいとは思  
う。

●委員

他の市町村が、モデル校を作っているところがあるが、スポーツ協会が指導員を派遣するとか、準備していかないとまずいと思う。(指導員を) やってほしい人は、やってくれないし、やって欲しくない人はどんどん手を上げてくると思う。そういう意味では、非常に難しい問題だと思う。大和市もスポーツで幸せにと考えるなら、全日本のモデルになるような形を作れるのではないかと私は思う。

○事務局

大和市の部活動の地域移行は、令和6年度に予算化し、第一歩を踏み出す。段階的に進めていくが、おっしゃったように、まずは顧問の先生の中でも、やらざるを得ないが、やりたくない。そこをフラットにして、(顧問を) やりたい先生にやっていただきましょうと。しかしながら、顧問の土日出勤について時給に換算すると、最低賃金より低いので、それを保障するというような制度を、令和6年度からスタートする。あともう一つは、外部指導員をどうするかについては、地域の大学等と連携しながら、そういった要員を入れ込めないかというのを段階的にやっていく。先ほどの総合型の方や色々な方にご協力いただくのにあたり、生徒を指導するのに、(指導者の) 受け入れの体制について、生徒の指導についてお願いすることになるので、例えばハラスメントがある等、教育上良くないことが起こらないようにする体制について教育委員会でも慎重に検討している。大和市は令和6年度予算で、地域移行についての予算を確保している。所管が教育委員会になるので、ご意見があれば、それを取りまとめて、教育委員会へお伝えすることは可能だと思う。今段階的に進めており、大和市が何もしないわけではないので、そこはご説明させていただく。

●委員

スポーツ協会の話をすると、部活動の地域移行についての意見交換は、既にもう3ヶ月前から行っている。ただ先ほど言ったように、4月から動き出すということで、予算が付けられて、組織を作って、運営を考えてということになる。

●委員

剣道や柔道というような危険を伴う部活動については、専門の人でないと難しいと思う。  
スポーツと体育はやはり違うと思うし、学校ではスポーツという授業はなくて体育である。大和市は、予算がついたということでもよろしいか。

○事務局

議会で議決され、(令和6年度の) 予算は成立した。ただ、どう募集をしていくかについては、教育委員会で取り組んでいく。後は外部指導員をどこから受け入れてくるとか、地域の方々の指導員をどうお願いしていくかについては、教育委員会もすごく慎重に捉え、生徒にとって何がベターなのかという考えが、とても重要という意見が教育委員会でも出ていた。段階的によく見ながら進めていくことが大事であると思う。

●委員

基本的には、今の部活動を維持していける方法を検討していくことになる。

●委員

外部コーチ制度は昔からあり、大和市でも何人かいた。

●委員

外部指導者については今もあるが、今度はそれとは違う部活動指導員という新しいものを作る。今まで外部指導者は土日来て練習してもいいが、顧問がいないと出来ない。引率はやはり教員でないと出来ない。新たに作る部活動指導員は、外部から来てもらい、その方が引率する権限もあり、そういう面で一步踏み出している。

●委員

(部活動の地域移行について) 第3期大和市スポーツ推進計画の中に、何らかの形で出てくるだろうということなので、一応準備期間が1年あるので、その中でまたご意見、また審議をお願いしたいと思う。

【その他 大和スポーツセンタープール解体・駐車場整備について、学校法人日本体育大学との協定締結式について、事務局より報告】

<質問・意見なし>

審議終了

以上